

【授業実践振り返りカード】

学校名 富士見中学校	学年 3 学年
授業者氏名 社会科・丸山 陽典	
題材名 「 歯と社会保障 ～歯の治療と予防 どちらが社会全体にとって望ましい？～ 」	
主 眼 国の財政で社会保障の額の割合が1 番高いことについて学んだ生徒たちが、日本の医療費や平均残存歯数、予防と治療にかかる費用、海外の歯科医療制度に着目し、日本の歯科医療制度の特徴と課題をまとめることを通して、予防歯科が個人の生活だけでなく社会全体にとっても望ましいことを理解することができる。	
学習材 ・日本の医療費のグラフ ・平均残存歯数のグラフ ・予防の場合と治療の場合の費用の比較 ・海外の歯科医療制度	
成 果 ・海外の制度と比較したことで、日本の社会保険制度の特徴である国民皆保険や3割負担で最低限の治療が受けられる特徴があることがつかみやすくなったと感じる。また、日本と海外の意識の違いもデータに入れたことで、振り返りで自分の生活に寄せたもの（以下を参照）が多くなり、それが社会保険料の負担に影響してくると感じた生徒がいたのがとてもよかった。	
課 題 ・治療費の金額などを資料で紹介するときに3割の自己負担額なのか、国が負担した金額まで含んだ金額なのかがわからないままになってしまった。（その状態でも子どもたちが一生懸命考えていたことに救われた） ・今回の振り返りでは「自分の生活に生かしていきたいこと」として振り返りをしたが、予防歯科と治療にかかるコスト、日本人の歯に対する意識の3点から振り返りをしていくと社会科の学習としてもさらに深まりにつながるのではないかな。	

【生徒の振り返り】（一部抜粋）

- ・歯の治療に関しては、むし歯などができたときに行って治療をするよりも、定期的に健診に行って予防をするほうが治療費を安く抑えられるとわかったので、定期的な健診を大切にしていきたいです。
- ・今日の授業で、日本は歯に対する意識が低いこと、国の補助がスウェーデンのようにはなっていないことを知った。このことから今後も歯の定期健診に向かい、自分の歯に対する意識をそのまま保っていきたいと思った。また、私の見えないところでいろんな人に助けられているのだなと改めて実感した。
- ・国ごとの社会保障の違いや日本の社会保障について知った。また、日本や外国の制度の多少の違いについて学べた。個人的に定期健診を受けた方が税金を使わなくて済むと感じた

のでこれからは定期健診を受けることも視野に入れて行動していきたい。

【ワークシート】

歯と社会保障

3年__部 名前__

★社会保障の4つの柱

①社会保険…けが・病気・失業などで収入がなくなることへの備え

→毎月保険料を負担しあい給付

②公的扶助…生活保護

③社会福祉…社会で弱い立場になりやすい人々を支援

④公衆衛生…人々の健康や安全な生活の保持

①について

○一生で歯の治療費は平均でどのくらいかかる？

予想 _____ 結果 _____

○日本の歯科医療制度の特徴と課題を外国の歯科医療制度と比較し

てまとめよう。

特徴

課題

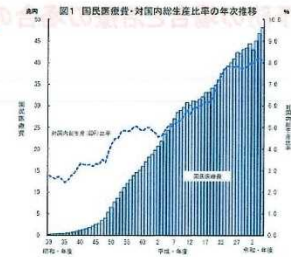
【授業のスライド】

歯と社会保障

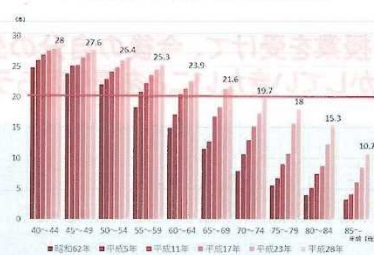
歯の治療と予防
どちらが社会全体にとって望ましい？

日本の医療費の現状

- 令和5年度
48兆915億円
- 現在に近づいていくほど
医療費が増えている



平均現在歯数の経年推移（歯科疾患実態調査）



一生で歯の治療費はどのくらいかかる？

平均で200～300万円かかるといわれています。

予防の場合と治療の場合のコストを比較

予防

10年後...約10万円
20年後...約30万円
30年後...約50万円

※クリーニングやフッ素を塗布するなどを行う

治療

10年後...約50万円
(詰め物・被せ物)
20年後...約100万円
(根管治療・ブリッジ)
30年後...約200万円
(インプラント・入れ歯)

日本の歯科医療制度の特徴と課題を 外国の歯科医療制度と比較してまとめよう

海外と比較

日本

- ・保険を使えば治療費は3割の自己負担で抑えられる。それなりの水準の治療ができる。
- ・自費診療であれば高水準の治療ができるが高額。
- ・定期的に歯のメンテナンスを行っている人は全人口の約5%
- ・「虫歯がでたら歯医者に行けばよい」という考え方

スウェーデン

- ・19歳まで歯科治療無料
- ・20歳から定期検診で政府から補助が出る
- ・定期的に歯のメンテナンスを行っている人は全人口の約90%
- ・「虫歯にならないよう予防するために歯医者に通う」という考え方

アメリカ

- ・国民皆保険制度が成り立っていないので、虫歯の治療をするだけかなり高額(10万円前後を自己負担)になる。(民間の保険制度を利用)
- ・定期的に歯のメンテナンスを行っている人は全人口の約5%
- ・「虫歯にならないよう予防するために歯医者に通う」という考え方

本日の授業を受けて、今後の自分の生活に生かしていきたいことを振り返ろう。

【授業実践振り返りカード】

学校名	富士見中学校	学年	全校（生徒集会）
授業者氏名 生徒会保健委員会			
題材名 「パタカラ体操クイズ」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 パタカラ体操を継続して取り組んできた生徒が、関連したクイズを解くことを通して、パタカラ体操の効果を見返し、効果を再確認してパタカラ体操に取り組むことができる。 Q2 発音をはっきりさせたり、 食べ物を口からこぼさないようにするために、 唇の筋肉をきたえるのはどの文字？ 1 ら 2 た 3 ぱ Q3 食べ物をのどの奥に運んだり、 発音をはっきりさせるための 舌（ペロ）の筋肉をきたえるのはどの文字？ 1 「ぱ」と「か」 2 「た」と「ら」 3 「ぱ」と「ら」			
学習材			
学習材 ・パタカラ体操クイズ（AI で作成） ・いーあーい、パタカラ体操			
成 果 AI でつくったクイズを出してみたが、1 問ずつ口を動かして考えている姿があった。この実践だけで毎日パタカラ体操をするという行動にはつながらないと思うが、月1回の集会で継続して扱うことによって、いつの日かオーラルフレイルを感じるようになったときに取り組んだ経験を思い出して、早めに気づいて対処できるようになると思いたい。			
課 題 パタカラ体操を正しく（姿勢よく、大きな発音で）行うためにどうしたらよいか、次のクイズを考える必要がある。次回は早口言葉も取り入れ、パタカラ体操に口の動きを改善する働きがあることを実感できるようにしたい。			